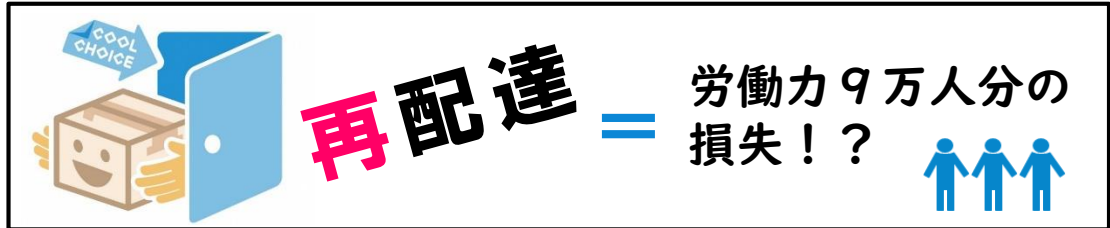




# MAEBASHI COOLCHOICE JOURNAL

まえばしクールチョイス通信 VOL.6



近年急増している宅配便の取扱い件数。そのうち2割が、受取人不在等の理由により再配達となった荷物であると言われています。

再配達には年間で約9万人分の労働力を要し、トラックからのCO2排出も環境に負荷を与えています。

配達日時を気軽に指定できるサービスの導入など、再配達防止に関する取組みが業界内で進む一方、消費者側の意識や行動は、まだ十分とは言えない状況です。

## 「時間」と「場所」を賢く選ぶ



時間を指定



場所を指定



再配達になってしまった荷物のうち、配達日時が指定されていないものはおよそ7割。

自分が荷物を受け取る際はもちろん、誰かに荷物を送るときも、在宅日時を確認するようにしましょう。

コンビニや宅配ボックスなど、自宅以外で荷物を受け取る方法も便利です。

再配達を減らすことは、環境だけでなく  
業界の人出不足の解消や働き方改革にも  
つながる取り組みです！

